

# 大阪市の民間生涯学習機関に関する研究

西 岡 正 子

1965（昭和 40）年ユネスコ第 3 回成人教育推進国際委員会において、ポール・ラングラン（Paul Lengrand）が生涯教育を提起し、1969（昭和 44）年 OECD・OERI（経済協力開発機構・教育研究開発センター）が 1970 年代の教育の方向としてリカレント教育を打ち出して以来、生涯教育・生涯学習の概念は広く世界にいきわたるようになった。

日本においては、1971（昭和 46）年に社会教育審議会答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」及び中央教育審議会答申「今後に於ける学校教育の総合的な拡充・整備のための基本的施策について」において、生涯教育・生涯学習の概念が導入されて以来生涯教育・生涯学習に関する種々の調査が行われ、また各種委員会における検討が始められた。1981（昭和 56）年の中央教育審議会答申「生涯教育について」では、生涯教育・生涯学習を単なる社会経済的要請ととらえるのではなく、「国民一人一人が充実した人生を送る事を目指して生涯にわたって行なう学習を助けるために、教育体制全体がその上に打ち立てられるべき基本的な理念である。」（『生涯教育－中央教育審議会答申』20 頁）と明言するに至った。さらに臨時教育審議会の 1985（昭和 60）年の第一次答申から 1987（昭和 62）年の第四次答申においては、生涯学習体系への移行を主軸とする教育体系の総合的再成の上に新しい教育のネットワークの形成を提言している。

この流れの中で地方自治体においても生涯教育推進会議等の組織体制の確立、生涯教育のための学習施設の整備拡充、新規学習プログラムの研究、指導者の要請・確保及び学習情報のネットワーク化等の施策が進められてきた。大阪市においては、大阪市民政局が 1987（昭和 62）年に「大阪市における生涯学習についての世論調査」を行ない、1988（昭和 63）年 5 月にその報告書が提出された。また 1988（昭和 63）年 11 月には市民の生涯にわたる多様な学習活動を促進、援助するための関係各部局の連絡調整を図り、関連行政を総合的、効果的に促進することを目的として「生涯学習推進会議」が設置された。その事業の一環として 1989（平成元）年には大阪市社会教育委員会社会教育課は大阪市における生涯学習推進体系を策定するため庁内関係各部局の生涯学習関連施策（施設・事業）の実態調査を行なっている。1989（平成元）年からは生涯学習推進会議が「大阪市の生涯学習推進の指針について」の検討を始めている。本研究においては、今後の生涯学習に関する市の有効な策定に寄与することを目的として民間生涯学習機関の実態調査を実施し、その実態を明らかにした。

## 大阪市における民間生涯学習機関実態調査

### 1. 調査の目的

本調査は、大阪市内における民間の生涯学習機関の実態を把握することを意図したものである。公的な社会教育施設、大学開放、大規模な民間の学習機関（例えばカルチャーセンター）は比較的容易に把握出来るのに反して、小規模な私的教育機関については、われわれは経験的にその役割の大なることを認識しているにもかかわらず、客観的データをあまり持ち合わせていなかった。

本調査は、生涯学習機関のうち、従来あまりその存在が明確に把握されていなかった、民間の小規模な学習機関をも調査し、大阪市の民間生涯学習機関の全体像を捉えることを目的としている。

### 2. 調査の方法及び調査期間

まず最初は大阪市内の電話帳をベースにその量的把握を図った。二番目に、それらのデータをもとに、各教育機関に対する郵送、ないし電話での情報収集をした。三番目に、情報収集の過程でより深い情報を必要とするものについて、個別に訪問し、更なる情報収集に努めた。

調査期間は平成元年8月1日より同年11月30日である。

### 3. 調査に当って

本調査においては、調査対象者に対し秘密厳守を約束した。しかしながら回答拒否及び誤った情報の提供と考えられ得るものがあつた。従って、郵便・電話・訪問・観察と多くの方法による検証を試みることにより、可能な限り正しい情報の収集に当つた。また、パンフレットの発行並びに広報宣伝に力を入れている中及び大規模学習機関に比べて小規模学習機関の情報を得るのは非常に困難であつた。民間の生涯学習機関は、歴史、形態、規模等種々様々であり、かつ個人の住宅と併用のものが多いため、調査は困難を極めた。本調査の示す数は、一般にわかり得る範囲での民間学習機関であるといえる。

次に本調査の示す実数は、北区・華道23という場合、華道を教える教室即ち場が北区に23あるということを示している。北区のある華道教室では週7日、1日8時間教えている場合もあり得るし、また別の華道教室では週1日、しかも1日2時間のみ数えているという場合もあり得る。従って、厳密に言えば教室数が多くとも、開室時間の長短に差があり、教室数だけで学習機会をとらえることに問題がある。しかし、これらを細かく調査することは、回答を得られないということもあり不可能に近い。

本調査においては、学習の機会を与え得る場所が何カ所あるかということのみを明らかにした。場所の数による機会の増減ということにおいて教室数の検証は、十分意味を持ち得ると考えられる。

最後に民間の生涯学習機関はその役割の大きさに比べて、非常に情報を得にくいと強く感じた。生涯学習時代及び情報化時代を生きるに当って、今後これらの情報の収集及び提供が非常に重要になると考えられる。円滑な情報提供によって、民間生涯学習機関の機能が最大限に生かされることが望まれる。

#### 4. 調査結果、考察及び実態のアウトライン

科目・分野の分類は以下の通りである。

- ① 音 楽 …… ピアノ関係、ギター、バイオリン、歌謡、琴・三味線、尺八、太鼓、琵琶、詩吟、長唄、民謡、その他
- ② 華道・茶道・香道
- ③ 書道・ペン字
- ④ 囲 碁・将 棋
- ⑤ 絵 画
- ⑥ クラフト関係 …… クラフト、手芸、染色、七宝焼、彫金、陶芸、人形、フラワーデザイン、彫刻
- ⑦ そ ろ ば ん
- ⑧ 洋裁、和裁、編物、織物、着付け
- ⑨ 料 理
- ⑩ 幼 児
- ⑪ 語 学 …… 外国語、日本語
- ⑫ 一 般 教 養
- ⑬ ス ポ ー ツ …… 合気道、居合道、剣道、拳法、空手、弓道、柔道、ゴルフ、スイミング、スキー、テニス、ヨット、その他
- ⑭ 舞 踊 …… 社交ダンス、ジャズダンス、日舞、バレエ、舞踊、その他
- ⑮ 健 康 …… エアロビクス、体操、ヨガ、その他
- ⑯ 資 格 …… 話し方、写真、製図、タイピスト、速記者、ビジネス、法律、調理師、菓子、栄養、易占、理容・美容、観光、喫茶・バーテンド、芸能・俳優、デザイン、翻訳、ワープロ、マイコン、コンピュータ、簿記、経理、はり・きゅう、指圧、歯科助手、医療、看護学校、海技教習所
- ⑰ 自 動 車
- ⑱ 美 術 (受 験)

I 「趣味・けいこ事に関するもの」

- ① 音楽    ② 華道・茶道・香道    ③ 書道・ペン字    ④ 囲碁・将棋  
⑤ 絵画    ⑥ クラフト関係    ⑦ そろばん

II 「日常生活・家庭生活に関した趣味及び教育」

- ⑧ 洋裁・和裁・編物・織物・着付け    ⑨ 料理    ⑩ 幼児

III 「語学」

- ⑪ 語学

IV 「一般教養に関するもの」

- ⑫ 一般教養

V 「スポーツ・レクリエーションに関するもの」

- ⑬ スポーツ    ⑭ 舞踊    ⑮ 健康

VI 「職業や資格取得に関するもの」

- ⑯ 資格    ⑰ 自動車    ⑱ 美術（受験）

また、地域分類では

都市商業中心地域 : 北区, 中央区, 西区, 天王寺区, 浪速区

都市隣接混合地域 : 福島区, 港区, 西成区

臨海工業地域 : 此花区, 大正区, 西淀川区

内陸混合地域 : 東成区, 生野区, 城東区, 鶴見区

東北部住宅地域 : 都島区, 淀川区, 東淀川区, 旭区

南部住宅地域 : 阿部野区, 住之江区, 住吉区, 東住吉区, 平野区

とした。

科目・分類別考察

I. 趣味・けいこ事に関するもの

① 音 楽

中央区 80 (19.4%), 北区 55 (13.3%) を中心として, 都市商業中心地域 191 と 46.1% が集中している。しかしながら他の科目に比べて, 比較的各地域・各区にまんべんなくみられる。ピアノ・エレクトーン等一般に普及しているおけいこが各区に分散しているということ, さらに琴・三味線教室, 尺八教室, 詩吟教室, 民謡教室等の従来からある伝統的教室が, 北・中央区にかたよらず, 各区に分散し存在している為である。このように伝統的おけいこ事は個人経営の小規模学習機関によって各地に開室されている。

ピアノ関係はほとんど個人指導で, グループ指導も 10 人までである。その他も個人又は

数人に対する指導である。月謝は3,000～10,000円で5,000円前後が最も多く、入会金は月謝とほぼ同額である。

## ② 華道・茶道・香道

中央区49(16.8%)、北区37(12.7%)を中心とする都市商業中心地域116(40.0%)が最も多いが、他科目に比べて、南部住宅地域65(22.4%)及び東北部住宅地域37(12.8%)における高い割合、さらには、内陸混合地域38(13.1%)及び都市隣接混合地域25(8.6%)にもまんべんなくみられるという特徴をもつ。

また、規模においては、自宅が54.1%を占めている。自宅が別棟より多いのはそろばんと、この華道・茶道・香道のみである。従来より行われている個人が弟子を教えるという伝統的なおけいこ教室が多いというのも、この科目の特徴といえる。

1クラスは10人前後で、月謝は3,000～6,000円。入会金は月謝とほぼ同額である。

## ③ 書道・ペン字

中央区24(16.7%)、北区17(11.9%)を中心として都市商業中心地域59(41.2%)に多くみられるが、南部住宅地域30(21.0%)、東北部住宅地域23(16.1%)にも広がっている。従来より行われている伝統的なおけいこ事であるので内陸・都市隣接混合地域や臨海工業地域においても多くみられる可能性があるかと予測されたにもかかわらず、臨海工業地域における科目分布においても第7番目に位置するに過ぎなかった。此花区や福島区において実数が0となっているのは、書道においては教室が小さい為、存在を確認し得なかったとも考えられる。自宅が33.6%とそろばん、華道・茶道に次いで小規模学習機関いわゆるおけいこ教室の占める割合が高くなっている。

子供から成人までを対象とし、1クラス10～20人。月謝は3,000～6,000円、入会金は月謝とほぼ同額である。

## ④ 囲碁・将棋

中央区・北区にそれぞれ17(16.1%)と都市商業中心地域に最も多くみられるが、南部・東北部両住宅地域や内陸混合地域にも分散している。自宅の割合が28.6%と①から⑩の全科目のうちの第4番目である。

子供から成人までを対象とし、1クラスは10～30人。月謝は、2,000～10,000円、入会金は月謝とほぼ同額である。

## ⑤ 絵画

中央区に11あり、その他は都市商業中心地域と東北部及び南部住宅地に散らばっている。また、都市商業中心地域においては、すべて専用建物を使った中・大規模教室である。此花区・大正区・西淀川区と臨海工業地域に当たる全区において絵画教室0となっている。これはこの地域において少なくとも一般にわかり得る教室が確認されなかったことを意味する。

1クラスの人数は10人前後であり、月謝は4,000～6,000円、入会金は月謝とほぼ同額である。

## ⑥ クラフト

前述の①～⑤の科目と同様に中央区 60 (34.6%)、北区 44 (25.3%) と都市商業中心地域に 69.9% が集中している。比較的各区に開かれている⑥-2 手芸教室、⑥-8 フラワーデザイン教室を除く、他の⑥-1 クラフト教室、⑥-3 染色教室、⑥-4 七宝焼教室、⑥-5 彫金教室、⑥-6 陶芸教室、⑥-7 人形教室、⑥-9 彫刻教室は、中央区・北区の他数区にしか点在せず、その上総てが専用建物が使われている。これらは大規模教育機関が一般にも指導を始めた新しい分野といえる。

1 クラスの人数はそれぞれ 10 ～ 30 人であり、月謝は 3,000 ～ 10,000 円、ただし彫金教室や人形教室は 10,000 ～ 20,000 円である。対象は主に成人である。

①音楽、②華道・茶道・香道、③書道・ペン字、⑤絵画、⑥クラフトのすべてにおいて中央区・北区を最多数開設区とし、都市商業中心地域から東北部及び南部住宅地域に多く分布している。それに反して、臨海工業地域においては極端に数が少ないということがいえる。

①②③④⑤⑥⑦をまとめて、I「趣味・けいこ事に関するもの」では当然のことながら上記の結果が如実に表れている。即ち、都市商業中心地域 584 (42.9%) と都市商業中心地域がすべての科目において最も多く、中でも、中央区・北区の占める割合が非常に高い。しかしながら、他の分野すなわちⅢ「語学」、Ⅳ「一般教養に関するもの」、Ⅴ「スポーツ・レクリエーションに関するもの」と比べれば、I「趣味・けいこ事に関するもの」は南部住宅及び東北部住宅地域、さらに内陸及び都市隣接混合地域に小規模おけいこ教室として古くから今日に至るまで根強く存在し、普及しているといえる。また、規模において都市商業中心地域は 79.1% が別棟と、自宅でのおけいこ教室より専門教育機関としての文化教室・カルチャーセンターが多くみられる。

## ⑦ そろばん

前記①から⑥とは対照的なのが⑦のそろばんである。①から⑥の科目において数の少なかった生野区 18、東成区 10 を始めとして内陸混合地域は 44 (22.3%) 西成区 16、港区 12、とする都市隣接混合地域 32 (16.2%)、臨海工業地域においても 17 (8.7%) を占めている。各区に 10 前後存在する南部住宅地域 46 (23.4%) 東北部住宅地域 32 (16.2%) と住宅地域に多くみられ、都市商業中心部は 26 (13.2%) とⅠの「趣味・おけいこ事に関するもの」の中でそろばんのみ最多ではなく、最小値を示している。また、①から⑤において突出していた中央区には 4 (2.0%)、北区には 7 (3.6%) とこの両区には非常に少ない。規模別では自宅が 78.2% を占め、全科目の中でも自宅が占める割合が最も高い。

1 クラスの人数は 10 ～ 30 人であり、20 人前後のところが最も多い。月謝は 4,000 ～ 5,000 円である。入会金は 1,000 ～ 2,000 円、但し教材費を含めて 4,000 ～ 5,000 円の所も

ある。

現在、児童数の減少又は小学校高学年及び中学生が学習塾に行く為、そろばん教室の経営が難しくなっているようである。特にそろばん教室の多い区では、生徒の獲得に困難がみられる。上記の為であるからか、珠算連盟において月謝及び入会金にあまり差が出ないようある程度金額を定めているようである。

## II. 日常生活・家庭生活に関する趣味及び教育

### ⑧ 洋裁・和裁

中央区 74 (20.4%)、北区 37 (10.2%) に多く、この二つを含む都市商業中心地域で 138 と 38.0% を占めている。またこの地域においては、自宅使用の小規模おけいこ教室は 11.6% と少なく、多くが大規模教室である。しかしながら比較的多くの教室のある南部と東北部住宅地域及び内陸混合地域においては自宅教室が占める割合は 31.3%、30.5% 及び 42.5% と高くなり、伝統的なおけいこ教室が多く存在することがわかる。

⑧-1 洋裁和裁教室、⑧-2 編物教室、⑧-3 織物教室、⑧-4 着付け教室のうち⑧-3 の織物教室は、中央区 (5)、北区 (1)、天王寺区 (1) にのみ存在し布や糸に関する伝統的なおけいこの分野の中でも大規模機関が一般への指導を始めた新しい内容の教室といえる。

自宅でのおけいこ教室の場合は 5～6 人の少人数、教室形式の場合 1 クラス約 20 人である。月謝は 4,000～11,000 円。入会金は 3,000～30,000 円である。

### ⑨ 料理

北区 13 (30.9%)、中央区 7 (16.6%) とこれも都市商業中心地域に集中し、総て専用建物を使用する中及び大規模なものである。その他住宅地域を中心に各地域に点在するが住宅地域・内陸混合地域においては、自宅使用の小規模なもののみみられる。

大規模料理教室においては、主婦や結婚前の女性を対象とし、1 クラス 10～20 人、月謝は材料費を入れて約 10,000 円、入会金は月謝に準じている。

### ⑩ 幼児

幼児英才教育を目指すもので規模の大きいものは一部の区にしか存在せず、都市隣接混合地域、臨海工業地域及び東北部住宅地域には一教室も見あたらない。

0 才児から 10 才児を対象とし、1 クラスは 1～7 人の少人数制である。月謝は 12,000～20,000 円で入会金も 12,000～40,000 円と高額である。

⑧洋裁・和裁、⑨料理、⑩幼児をまとめたⅡ「日常生活・家庭生活に関する趣味及び教育」においては、Ⅰの「趣味・けいこ事に関するもの」と同じ傾向がみられる。これは洋裁・和裁が古くから一般に広がっているおけいこ教室であることからの結果であると思われる。伝統的なおけいこ分野であるⅠとⅡの両分野に共通してみられることは、都市商業中心地域には中及び大規模教室が集中し、次に南部及び東北部住宅地域において 60～70% の間で中及び

大規模教室がみられる。最後に都市混合・内陸混合地域及び、臨海工業地域においては約50%の割合で中・大規模教室が存在する。

### Ⅲ. 語 学

#### ⑪ 語 学

北区109(33.0%)、中央区95(28.8%)とこの2区に集中し、自宅教室に比べ中・大規模な語学教室が圧倒的に多くみられる。一科目の地域分布においては、都市商業中心地域への集中が72.5%と、⑫の一般教養の81.8%に次いで高い。これは、最近の国際化ブームに助長された中・大規模語学学校急増の結果とみられる。

英語を主とする外国語学校は、北区、中央区を中心としながら、南部及び東北部住宅地域にも開かれているが、日本語のみを教授する日本語学校は、その性格から中央区と北区を合わせた19、及び浪速区2、天王寺区1、と都市商業中心地域のみに集中し、他地域では2区に存在するのみである。

対象は小・中学生から成人に至り、個人指導から少人数のグループレッスン(3～15人)がある。月謝は個人指導では約20,000円、グループレッスンでは8,000～15,000円であり、入会金は5,000～10,000円である。

### Ⅳ. 一般教養に関するもの

#### ⑫ 一般教養

デパート系、新聞社系の大規模学習機関にのみみられる科目で、都市商業中心地域に集中し、学習内容は、歴史・文学・宗教・経済と広範に渡る。

1クラスは20～100人と学習内容によって開きがある。月謝は、5～6回の授業で10,000円前後、入会金は約5,000円である。

### Ⅴ. スポーツ・レクリエーションに関するもの

#### ⑬ スポーツ

スポーツ全体でみれば、中央区24(16.0%)、北区20(13.3%)とこの2区を中心に都市商業中心地域が54と35.8%を占める。しかし、中央区はゴルフ教室5、テニス教室2、及びリズムミックカンフー、中国武術等を含むその他11、北区はスイミング8、テニス2及びその他5というように、新しく一般に広まりつつある種目が多くを占め、その総てが大規模学習機関において行われている。空手、合気道、剣道のような伝統的武道は、ほとんどみられない。

伝統的武道教室の数をみると、都市商業中心地域とは対比的に、東住吉区7、平野区7及び阿部野区6を中心とする南部住宅地域25、次いで淀川6を中心として東北部住宅地域15



にその存在が多くみられる。これらの多くは別棟となっているが自宅に道場を建てた個人経営も多く含まれている。これらの中には最近の新分野の教室に生徒をとられ、経営が苦しくなってきたところも出ている。

武道においては対象は子供から成人までであり、個人指導又は10～30人を1クラスとしている。月謝は3,000～10,000円、入会金も月謝に準ず。

スイミング（水泳）は、生後6ヶ月から成人を対象とし、月謝及び入会金約5,000円である。ゴルフ教室及びテニス教室においては、月謝10,000～20,000円、入会金も月謝に準じている。

#### ⑭ 舞 踊

中央区39（20.4%）、北区30（15.7%）とこれら2区を含む都市商業中心地域に92（48.4%）が存在しているが、南部・東北部住宅地域の各区、及び内陸・都市隣接混合地域、さらに臨海工業地域の各区にまんべんなくみられるという特色がある。

バレエ教室、ジャズダンス教室、日本舞踊は、幼児から成人までを対象とし、個人指導及び1クラスの人数20～30人である。

社交ダンスは成人を対象とし、やはり、個人指導から1クラス20人位までのレッスンがあるが、費用は30分単位で30分3,000円というとり方をしている。

#### ⑮ 健 康

新聞社系・デパート系の大規模学習機関において、新しい分野であるエアロビクス教室やヨガ教室さらに気功・自強術・健康体操等が多くみられる。個人経営は全くなく、新規大手学習機関が新分野の学習を提供しているといえる。

1クラスは約20人で、月謝は5,000～10,000円であるが、エアロビクス教室においては、チケット制等の新方式を採用しているところもある。

⑬スポーツ、⑭舞踊、⑮健康に共通して、新しい内容の教室は、大規模学習機関によって都市商業中心地域に集中的に開室されているが、従来よりある伝統的な学習は、大規模学習機関によって教授されている。

### VI. 職業資格取得に関するもの

#### ⑯ 資 格

ほとんどが学校又は学院と呼ばれるもので、自宅を使用しているのは、話し方教室1、製図教室1、易占7のみである。伝統的なおけいこ教室とは異なり、広い範囲から生徒を集める点において、都市商業中心地域287（70.7%）に集中している。

費用は年間数万から百数十万円と他の教室に比べて高額なものが多い。

⑰自動車は敷地の面から、淀川区、都島区を中心として東北部住宅地域にも分散している。

費用は80,000～210,000円となっている。

尚、⑬美術は、美術を専攻せんとする人の為の成人を対象とした教室である。

(以上の考察は表1から表8の参照及び各科目中の教室実数及び規模を明らかにした調査結果に基づいている。)

## 科目・分野・地域・規模の関係における特色の把握

### 一科目の地域分布〈表2より〉

図1にみられるように、従来からある伝統的おけいこ事は、比較的各地域に分散している。又、そろばんは、都市隣接混合地域(16.2%)、臨海工業地域(8.7%)、内陸混合地域(22.3%)にも多くみられる。

クラフト関係(69.9%)、語学(72.5%)、一般教養(81.8%)、資格(70.7%)は都市商業中心地域に集中している。また、これらは都市隣接混合地域、臨海工業地域、内陸混合地域に非常に少ないという特色がみられる。

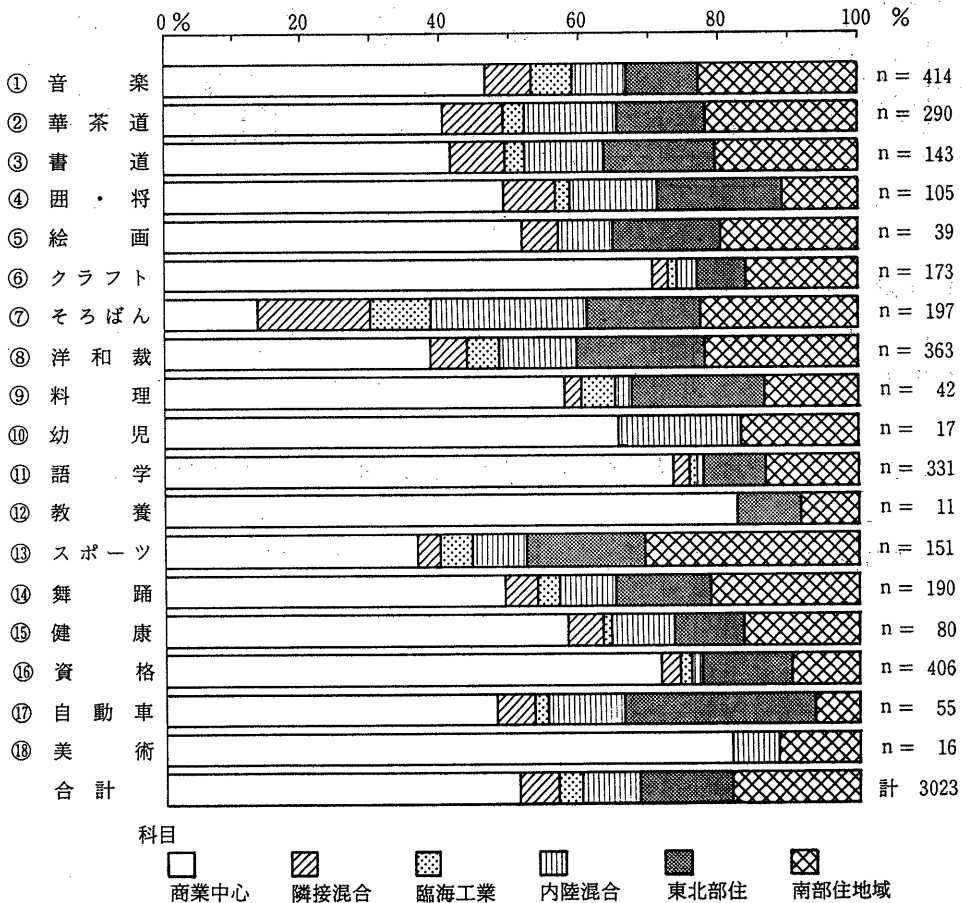


図1

## 地域別最多4科目〈表3より〉

図2にみられるように、商業中心地域では、資格・音楽が1位と2位を占める。その他の地域においては、音楽、華道・茶道、洋裁・和裁が最多4科目の中に共通してみられる。

隣接混合地域、臨海工業地域及び内陸混合地域においては、そろばんが上位を占めているのが特色である。

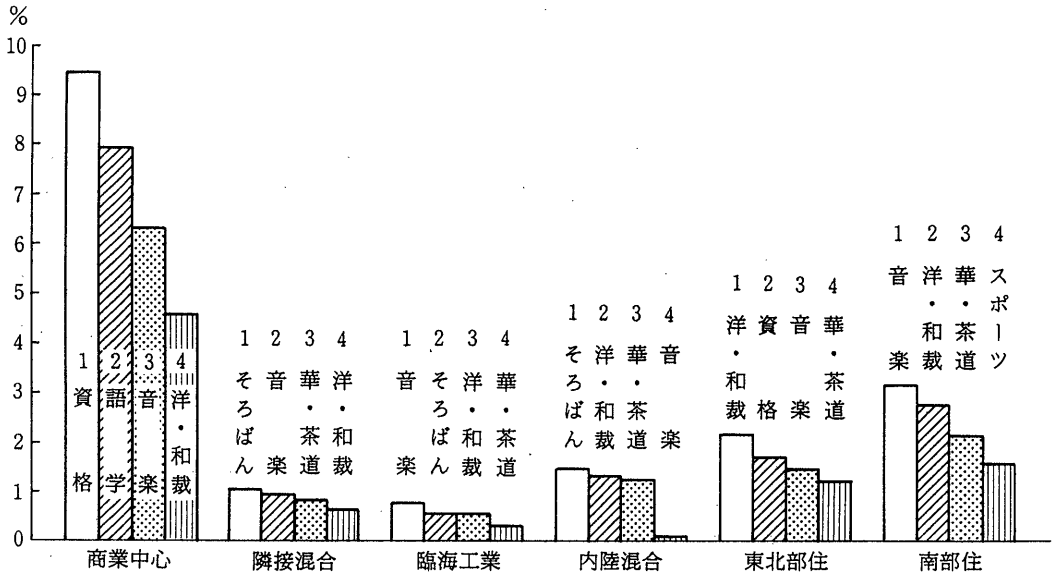


図2

## 一分野の地域分布〈表5より〉

図3にみられるように、I「趣味・けいこ事に関するもの」、II「日常生活・家庭生活に関した趣味及び教育」、V「スポーツ・レクリエーションに関するもの」は比較的各地域に分散している。

III「語学」、VI「一般教養に関するもの」は商業中心地域、東北部住宅地域、南部住宅地域にかたよっている。

IV「一般教養に関するもの」は上記三地域にのみみられるという特色がある。

大阪市の民間生涯学習機関に関する研究

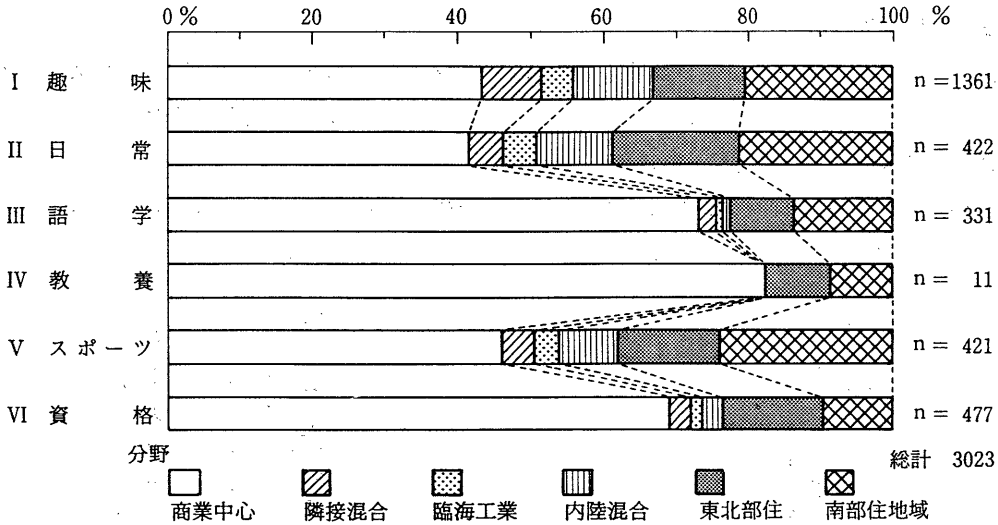


図 3

一地域における分野分布 <表 6 より>

図 4 にみられるように、商業中心地域においては他地域に比べて、III「語学」(15.7%) IV「職業や資格取得に関するもの」(21.4%) の占める割合が高い。

隣接混合地域、臨海工業地域、内陸混合地域においては、I「趣味・けいこ事に関するもの」が60%前後を占め、IIの「日常生活・家庭生活に関した趣味及び教育」と合わせると80%近くになるという特色がみられる。

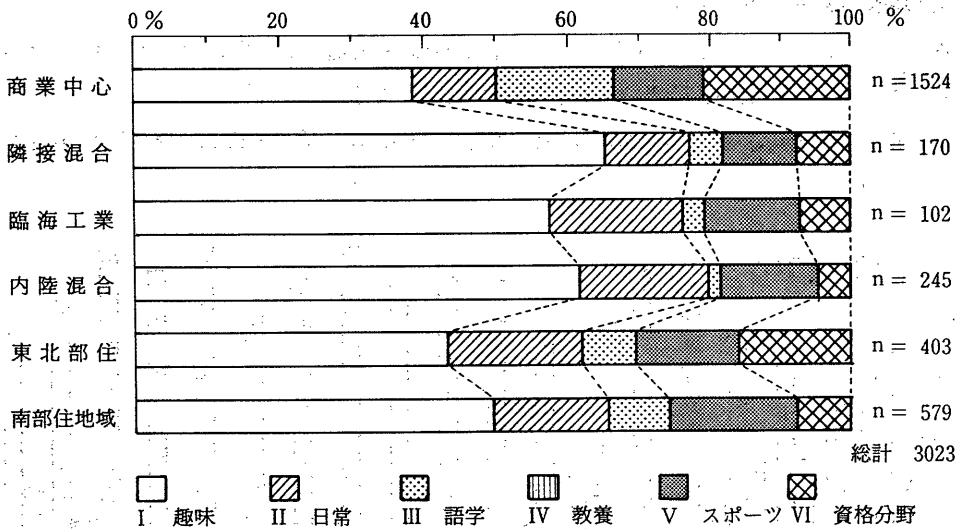


図 4

地域・分野分布〈表5・6より〉

図4-2にみられるように、商業中心地域における教室数は全体の50.4%を占め突出している。以下、南部住宅地域、東北部住宅地域、内陸混合地域と続き、臨海工業地域にあっては、全体の3.4%を占めるに過ぎない。

各地ともⅠ「趣味・けいこ事に関するもの」が一番多くを占めるという特色がみられる。

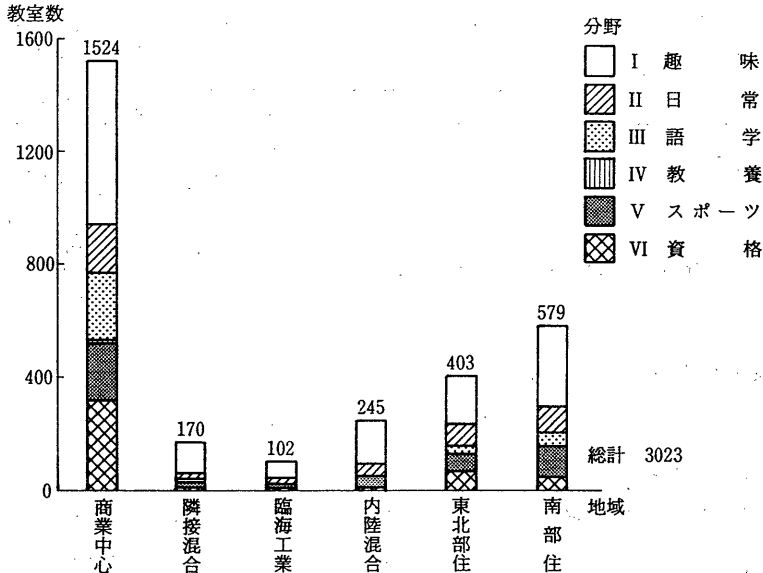


図4-2

科目別規模の割合〈表4より〉

図5にみられるように、そろばん(78.2%)、華道・茶道(54.1%)は自宅を使った小規模教室が多い。自宅が別棟より多いのは、この2科目である。

次いで、書道・ペン字(33.6%)、囲碁・将棋(28.6%)、洋裁・和裁(26.2%)が自宅にて

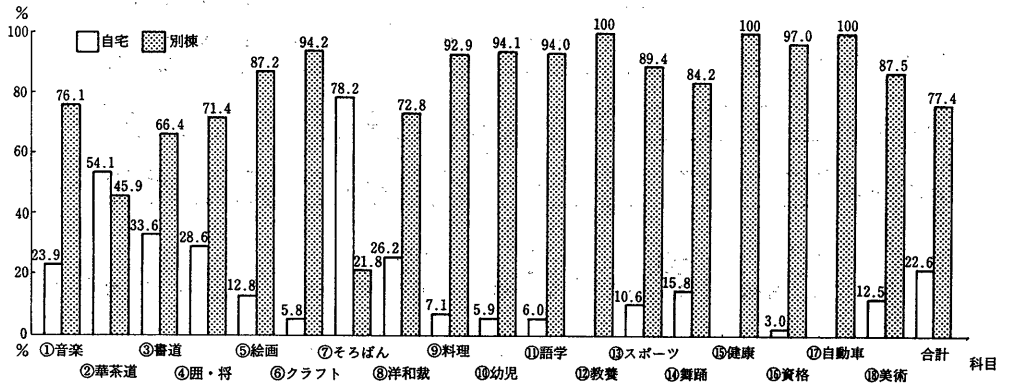


図5

開設されている。

一般教養は100%，クラフトは94.2%，語学は94.0%とこれら新しい科目は大又は中規模学習機関によって提供されているという特色がみられる。

**分野・地域にみる規模の割合**〈表7より〉

図6-1から図6-7においてみられるように、各地域において小規模学習機関の占める割合が比較的高いのは、I「趣味・けいこ事に関するもの」、II「日常生活・家庭生活に関する趣味及び教育」の分野である。特に内陸混合地域(69.3%)、都市隣接混合地域(57.3%)、及び臨海工業地域(50.0%)においては、I「趣味・けいこ事に関するもの」の半数または半数以上が小規模学習機関によって支えられている。

III「語学」、IV「教養」の新しい分野においては各地域とも大規模学習機関が100%もしくはそれに近い割合を示している。

都市商業中心地域にお

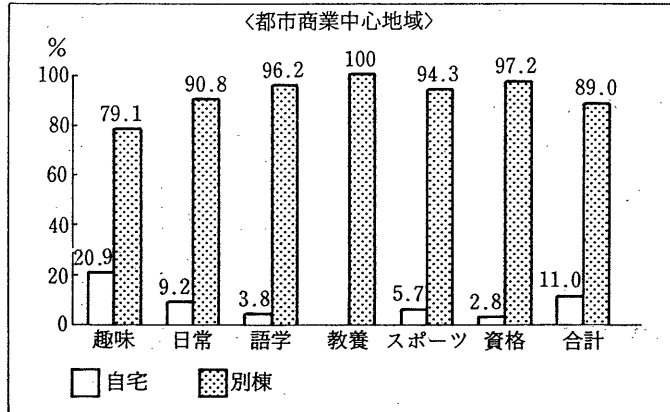


図6-1

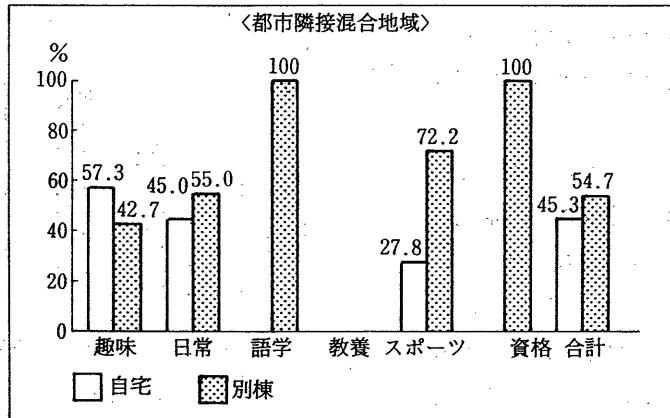


図6-2

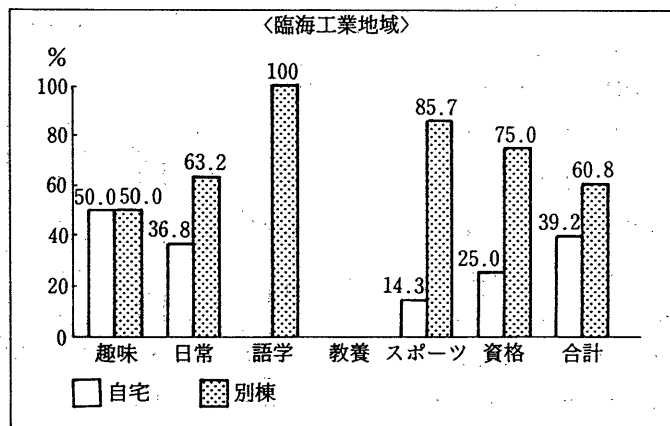


図6-3

いては、別棟が 89.0% を占めている。

内 陸 混 合 地 域 (52.2%)，都市隣接混合地域 (45.3%)，臨海工業地域 (39.2%) の順に自宅を使用した小規模学習機関が多くみられる。

新しい学習内容は、北区、中央区を中心とする都市商業中心地域において、中又は大規模学習機関によって広がっており、この広がり、南部住宅地域・東北部住宅地域を次の第二普及地域とし、さらに都市隣接混合地域・内陸混合地域へと続いている。また従来からある伝統的なおけいこ教室は、個人の経営に支えられ、両住宅地域及び両混合地域に生き続けている。新しい学習内容がほとんどみられない臨海工業地域にあっても、おけいこ教室として伝統的な音楽、そろばん、洋裁・和裁、茶道・華道の順に教室が多く存在している。

このように科目と分野の区・地域分布は歴史と社会の両方に深い繋がり

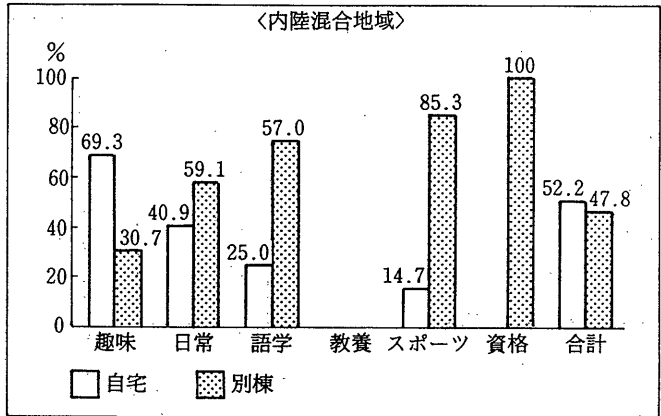


図 6 - 4

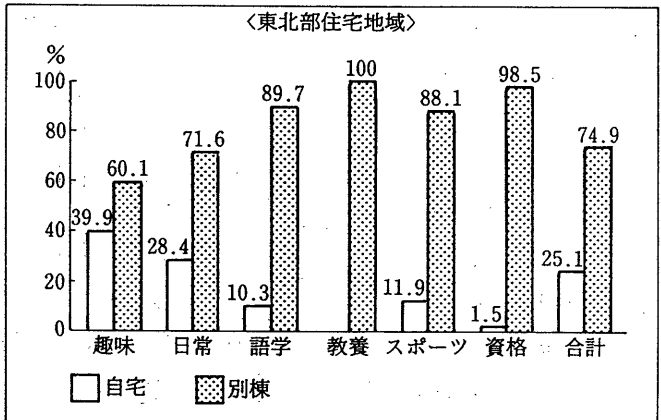


図 6 - 5

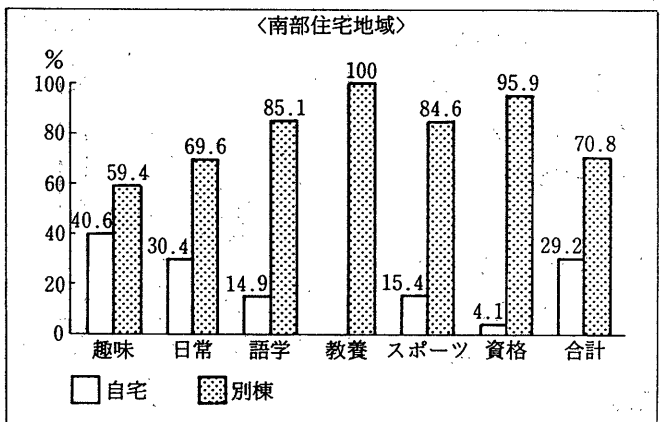


図 6 - 6

をみせている。

音楽、華道・茶道、そろばん、洋裁・和裁等、伝統的おけいこ事は小規模学習機関として、各地に分散している。しかし、全科目を通じて北区、中央区への集中が目立ち（全体の39.8%）、両区を中心とした都市商業中心地域では、大規模又は中規模学習機関が多くみ

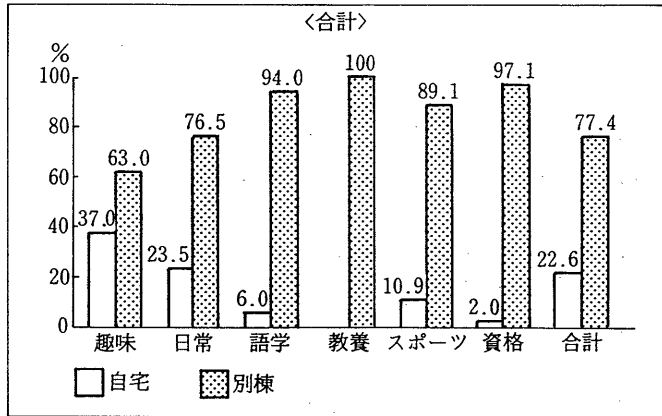


図6-7

られる（専用建物89.0%）。これらの地域ではカルチャーセンターを中心に、学習内容においても教養や語学等新分野のものが多くみられる。また、従来からある音楽、クラフト、洋裁・和裁、スポーツ等の科目においても、織物やジャズダンス等新しい学習内容の指導が始められている。

北区・中央区は表8にみられるように、人口は10万を切っており、区人口に比して教室数が極端に多い。また、大規模なカルチャーセンターもこの両区に集中しており、この両区が大阪市の文化活動の中心地となりつつあることがわかる。

調査の過程において、小規模な学習機関に閉鎖、休業しているところが見られた。また、電話や訪問調査において得た情報から、小規模学習機関に経営的に困難な状況におかれているところはかなり存在することも推測された。近年のカルチャーセンターの隆盛は、従来の生涯教育機関を圧迫駆逐し、新たな統合を生じつつある。現在は小規模の地域社会に密着した社会教育、生涯教育機関から、大規模なターミナル集中型の教育機関への移行の過程であるとともに、社会教育、生涯教育が大資本の系列下におかれ、一種の企業化への道をたどり始めているといえよう。

生涯教育・生涯学習とは伝統的な教育の理念や形態をそのままにしておいて、単にその教育を生涯に延長し続けようというものではないし、まして社会教育のみに手を加えればよいというものではない。それは、学校教育の再編成を含めた教育体系の本質的変革を意味している。生涯教育施策の計画及び実施にあつては、学校教育を含めた教育方針の大構想の中に社会教育の改革が位置づけられねばならない。でなければ、綿綿と受け継がれてきた地域に密着した民間の小規模学習機関を公の生涯学習機関と大規模民間学習機関が単に駆逐するという結果をもたらす危険性がある。生涯教育体系作りという構想の中には学校教育改革を一方の端にまたその反対の極には今後の地域の在り方を視座にいたした民間生涯学習機関の存在意義の確認が必要とされる。



科目別・地域別・個数（全数・規模別）表〈表1〉

		① 音 楽		② 華道・茶道・香道他		③ 書 道・筆 字		④ 西画・将棋		⑤ 絵 画		⑥ クラフト		⑦ そろばん		⑧ 洋教・和歌・書道他		⑨ 料 理		⑩ 幼 児		⑪ 語 学		⑫ 一般教養		⑬ スポーツ		⑭ 舞 踊		⑮ 健 康		⑯ 資 格		⑰ 自動車		⑱ 美 術		合 計																				
		全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業	全数	自宅	別業																		
都市商業中心地域	北	55	13	42	37	9	28	17	1	16	17	4	13	4	0	4	44	3	41	7	7	0	37	2	35	13	0	13	5	0	5	109	1	108	6	0	6	20	0	20	30	3	27	17	0	17	134	4	130	14	0	14	5	0	5	571	47	524
	中央	80	6	74	49	14	35	24	1	23	17	4	13	11	0	11	60	1	59	4	1	3	74	9	65	7	0	7	3	0	3	95	3	92	2	0	2	24	1	23	39	3	36	24	0	24	104	1	103	4	0	4	4	0	4	625	44	581
	西	16	6	10	6	3	3	4	2	2	2	0	2	1	0	1	4	2	2	3	3	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	10	1	9	0	0	0	2	0	2	5	1	4	0	0	0	10	0	10	5	0	5	0	0	0	72	19	53
	天王寺	28	9	19	20	11	9	12	4	8	10	2	8	3	0	3	10	0	10	6	6	0	12	3	9	2	0	2	3	0	3	15	4	11	1	0	1	7	0	7	8	1	7	5	0	5	21	2	19	1	0	1	3	1	2	167	43	124
	浪速	12	0	12	4	3	1	2	0	2	5	2	3	1	0	1	3	0	3	6	5	1	11	1	10	2	0	2	0	0	0	11	0	11	0	0	1	1	0	10	1	9	0	0	18	0	18	2	0	2	1	1	0	89	14	75		
	(小計)	191	34	157	116	40	76	59	8	51	51	12	39	20	0	20	121	6	115	26	22	4	138	16	122	24	0	24	11	0	11	240	9	231	9	0	9	54	2	52	92	9	83	46	0	46	287	7	280	26	0	26	13	2	11	1524	167	1357
都市隣接混合地域	福島	13	3	10	10	8	2	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1	0	1	4	4	0	4	2	2	1	0	1	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	4	1	3	0	0	0	9	0	9	1	0	1	0	0	0	54	19	35		
	港	6	0	6	4	2	2	6	2	4	3	1	2	1	0	1	2	0	2	12	10	2	7	3	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	2	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	49	18	31	
	西成	9	6	3	11	8	3	5	4	1	3	1	2	0	0	0	1	0	16	12	4	8	4	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	4	3	1	3	1	2	2	0	2	2	0	02	1	0	1	0	0	0	67	40	27		
	(小計)	28	9	19	25	18	7	11	6	5	8	3	5	2	0	2	4	1	3	32	26	6	19	9	10	1	0	1	0	0	0	8	0	8	0	0	5	3	2	9	2	7	4	0	4	11	0	11	3	0	3	0	0	0	170	77	93	
臨海工業地域	此花	10	4	6	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	4	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	27	9	18		
	大正	6	0	6	3	3	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	9	2	6	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	39	22	17			
	西淀川	8	2	6	4	1	3	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	2	0	7	3	4	1	0	1	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	4	1	3	0	0	0	0	0	36	9	27		
	(小計)	24	6	18	9	4	5	4	3	1	2	1	1	0	0	0	2	0	2	17	15	2	17	7	10	2	0	2	0	0	0	3	0	3	0	0	7	0	7	6	2	4	1	0	1	7	2	5	1	0	1	0	0	102	40	62		
内陸混合地域	東成	10	3	7	9	9	0	6	4	2	2	2	0	1	0	1	1	0	1	10	7	3	10	3	7	0	0	0	2	0	2	3	1	2	0	0	4	0	4	4	0	4	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	65	29	36			
	生野	8	7	1	15	12	3	4	3	1	7	4	3	1	0	1	2	0	2	18	14	4	14	6	8	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	2	4	3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	86	49	37			
	城東	8	6	2	11	9	2	3	2	1	4	1	3	1	1	0	2	0	2	8	6	2	12	5	7	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	2	7	3	4	2	0	2	1	0	1	3	0	3	1	0	1	66	33	33	
	鶴見	5	2	3	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	3	0	3	0	0	0	28	17	11		
	(小計)	31	18	13	38	32	6	16	11	5	13	7	6	3	1	2	5	0	5	44	35	9	40	17	23	1	1	0	3	0	3	4	1	3	0	0	12	2	10	15	3	12	7	0	7	6	0	6	6	0	6	1	0	1	245	128	117	
東北部住宅地域	都島	16	2	14	7	3	4	9	4	5	6	2	4	2	0	2	2	0	2	2	0	15	2	13	5	0	5	0	0	0	5	0	5	0	0	0	5	0	5	10	1	9	2	0	2	12	1	11	6	0	6	0	0	0	104	17	87	
	淀川	8	2	6	14	6	8	6	2	4	8	2	6	0	0	6	1	5	12	7	5	28	9	19	2	1	1	0	0	0	18	1	17	0	0	0	10	0	10	8	1	7	4	0	4	28	0	28	7	0	7	0	0	0	159	32	127	
	東淀川	11	2	9	7	4	3	5	1	4	2	1	1	2	1	1	4	1	3	13	11	2	11	3	8	0	0	0	0	0	6	2	4	0	0	0	6	0	6	7	4	3	1	0	1	7	0	7	1	0	1	0	0	83	30	53		
	旭	9	2	7	9	9	0	3	2	1	3	0	3	2	1	1	0	0	0	5	1	4	12	6	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	1	3	1	0	1	1	0	1	5	0	5	1	0	1	0	0	57	22	35	
	(小計)	44	8	36	37	22	15	23	9	14	19	5	14	6	2	4	12	2	10	32	21	11	66	20	46	8	1	7	0	0	0	29	3	26	1	0	1	25	1	24	26	6	20	8	0	8	52	1	51	15	0	15	0	0	0	403	101	302
南部住宅地域	阿部野	39	11	28	26	17	9	12	6	6	6	1	5	3	1	2	20	1	19	7	6	1	33	8	25	4	0	4	2	1	1	22	2	20	1	0	1	15	0	15	25	3	22	7	0	7	28	1	27	0	0	1	0	1	251	58	193	
	住之江	12	0	12	6	3	3	4	0	4	2	1	1	2	0	2	1	0	1	8	7	1	13	3	10	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	6	1	5	2	1	1	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	65	16	49		
	住吉	9	3	6	8	4	4	4	1	3	1	0	1	1	0	1	6	0	6	12	7	5	11	3	8	1	0	1	1	0	1	12	2	10	0	0	0	6	2	4	9	2	7	3	0	3	3	0	3	0	0	1	0	1	88	24	64	
	東住吉	12	6	6	17	12	5	7	2	5	1	0	1	2	1	1	1	0	1	9	7	2	17	8	9	0	0	0	0	0	4	1	3	0	0	0	11	2	9	3	1	2	3	0	3	7	1	6	0	0	0	0	0	94	41	53		
	平野	24	4	20	8	5	3	3	2	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	10	8	2	9	4	5	1	1	0	0	0	0	4	2	2	0	0	10	3	7	3	1	2	1	0	1	2	0	2	3	0	3	0	0	81	30	51		
	(小計)	96	24	72	65	41	24	30	11	19	12	2	10	8	2	6	29	1	28	46	35	11	83	26	57	6	1	5	3	1	2	47	7</																									

一科目の地域分布表〈表2〉

	① 音楽		② 華道・茶道他		③ 書道・ペン字		④ 囲碁・将棋		⑤ 絵画		⑥ クラブ・ト関係		⑦ そろばん		⑧ 洋裁・和裁他		⑨ 料理		⑩ 幼児		⑪ 語学		⑫ 一般教養		⑬ スポーツ		⑭ 舞踊		⑮ 健康		⑯ 資格		⑰ 自動車		⑱ 美術		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都市商業中心地域	191	46.1	116	40.0	59	41.2	51	48.6	20	51.3	121	69.9	26	13.2	138	38.0	24	57.1	11	64.8	240	72.5	9	81.8	54	35.8	92	48.4	46	57.4	287	70.7	26	47.2	13	81.2	1524	50.4
都市隣接混合地域	28	6.8	25	8.6	11	7.7	8	7.6	2	5.1	4	2.3	32	16.2	19	5.2	1	2.4	0	0.0	8	2.4	0	0.0	5	3.3	9	4.7	4	5.0	11	2.7	3	5.5	0	0.0	170	5.6
臨海工業地域	24	5.8	9	3.1	4	2.8	2	1.9	0	0.0	2	1.2	17	8.7	17	4.7	2	4.8	0	0.0	3	0.9	0	0.0	7	4.6	6	3.2	1	1.3	7	1.7	1	1.8	0	0.0	102	3.4
内陸混合地域	31	7.5	38	13.1	16	11.2	13	12.4	3	7.7	5	2.9	44	22.3	40	11.0	1	2.4	3	17.6	4	1.2	0	0.0	12	7.9	15	7.9	7	8.8	6	1.5	6	10.9	1	6.3	245	8.1
東北部住宅地域	44	10.6	37	12.8	23	16.1	19	18.1	6	15.4	12	6.9	32	16.2	66	18.2	8	19.0	0	0.0	29	8.8	1	9.1	25	16.6	26	13.7	8	10.0	52	12.8	15	27.3	0	0.0	403	13.3
南部住宅地域	96	23.2	65	22.4	30	21.0	12	11.4	8	20.5	29	16.8	46	23.4	83	22.9	6	14.3	3	17.6	47	14.2	1	9.1	48	31.8	42	22.1	14	17.5	43	10.6	4	7.3	2	12.5	579	19.2
合計	414	100.0	290	100.0	143	100.0	105	100.0	39	100.0	173	100.0	197	100.0	363	100.0	42	100.0	17	100.0	331	100.0	11	100.0	151	100.0	190	100.0	80	100.0	406	100.0	55	100.0	16	100.0	3023	100.0

一地域における科目分布表〈表3〉

	① 音楽		② 華道・茶道他		③ 書道・ペン字		④ 囲碁・将棋		⑤ 絵画		⑥ クラブ・ト関係		⑦ そろばん		⑧ 洋裁・和裁他		⑨ 料理		⑩ 幼児		⑪ 語学		⑫ 一般教養		⑬ スポーツ		⑭ 舞踊		⑮ 健康		⑯ 資格		⑰ 自動車		⑱ 美術		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都市商業中心地域	191	12.5	116	7.6	59	3.9	51	3.3	20	1.3	121	7.9	26	1.7	138	9.1	24	1.6	11	0.7	240	15.8	9	0.6	54	3.5	92	6.0	46	3.0	287	18.9	26	1.7	13	0.9	1524	100.0
都市隣接混合地域	28	16.4	25	14.7	11	6.5	8	4.7	2	1.2	4	2.4	32	18.7	19	11.2	1	0.6	0	0.0	8	4.7	0	0.0	5	2.9	9	5.3	4	2.4	11	6.5	3	1.8	0	0.0	170	100.0
臨海工業地域	24	23.5	9	8.8	4	3.9	2	2.0	0	0.0	2	2.0	17	16.6	17	16.6	2	2.0	0	0.0	3	2.9	0	0.0	7	6.9	6	5.9	1	1.0	7	6.9	1	1.0	0	0.0	102	100.0
内陸混合地域	31	12.7	38	15.5	16	6.5	13	5.3	3	1.2	5	2.0	44	18.1	40	16.4	1	0.4	3	1.2	4	1.6	0	0.0	12	4.9	15	6.1	7	2.9	6	2.4	6	2.4	1	0.4	245	100.0
東北部住宅地域	44	10.9	37	9.2	23	5.7	19	4.7	6	1.5	12	3.0	32	7.9	66	16.4	8	2.0	0	0.0	29	7.2	1	0.2	25	6.2	26	6.5	8	2.0	52	12.9	15	3.7	0	0.0	403	100.0
南部住宅地域	96	16.7	65	11.2	30	5.2	12	2.1	8	1.4	29	5.0	46	7.9	83	14.3	6	1.0	3	0.5	47	8.1	1	0.2	48	8.3	42	7.3	14	2.4	43	7.4	4	0.7	2	0.3	579	100.0
合計	414	13.8	290	9.6	143	4.7	105	3.5	39	1.3	173	5.7	197	6.5	363	12.0	42	1.4	17	0.6	331	10.9	11	0.4	151	5.0	190	6.3	80	2.6	406	13.4	55	1.8	16	0.5	3023	100.0

科目・地域にみる規模の割合〈表4〉

	① 音 楽			② 楽 器・楽器・音源器			③ 書道・ペン字			④ 図画・図工			⑤ 絵 画			⑥ クラフト関係			⑦ そろばん			⑧ 算数・算術・数			⑨ 科 理			⑩ 幼 児			⑪ 語 学			⑫ 一般教養			⑬ スポーツ			⑭ 舞 踊			⑮ 健 康			⑯ 資 格			⑰ 自 動 車			⑱ 美 術			合 計		
	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟	全数	自宅	別棟									
都市商業 中心地域	191	17.8	82.2	116	34.4	65.6	59	13.6	86.4	51	23.5	76.5	20	0.0	100.0	121	5.0	95.0	26	84.6	15.4	138	11.6	88.4	24	0.0	100.0	11	0.0	100.0	240	3.8	96.2	9	0.0	100.0	54	3.7	96.3	92	9.8	90.2	46	0.0	100.0	287	2.4	97.6	26	0.0	100.0	13	15.4	84.6	1524	11.0	89.0
都市商業 圏外地域	28	32.1	67.9	25	72.0	28.0	11	54.5	45.5	8	37.5	62.5	2	0.0	100.0	4	25.0	75.0	32	81.2	18.8	19	47.4	52.6	1	0.0	100.0	0	0.0	0.0	8	0.0	100.0	0	0.0	0.0	5	60.0	40.0	9	28.6	71.4	4	0.0	100.0	11	0.0	100.0	3	0.0	100.0	0	0.0	0.0	170	45.3	54.7
臨海工 業地域	24	25.0	75.0	9	44.4	55.6	4	75.0	25.0	2	50.0	50.0	0	0.0	0.0	2	0.0	100.0	17	88.2	11.8	17	41.2	58.8	2	0.0	100.0	0	0.0	0.0	3	0.0	100.0	0	0.0	0.0	7	0.0	100.0	6	33.3	66.7	1	0.0	100.0	7	28.6	71.4	1	0.0	100.0	0	0.0	0.0	102	39.2	60.8
内陸混 合地域	31	58.1	41.9	38	84.2	15.8	16	68.8	31.2	13	53.8	46.2	3	33.3	66.7	5	0.0	100.0	44	79.5	20.5	40	42.5	57.5	1	100.0	0.0	3	0.0	100.0	4	25.0	75.0	0	0.0	0.0	12	16.7	83.3	15	20.0	80.0	7	0.0	100.0	6	0.0	100.0	6	0.0	100.0	1	100.0	100.0	245	52.2	47.8
東北都 市住宅地	44	18.6	81.4	37	59.5	40.5	23	39.1	60.9	19	26.3	73.7	6	33.3	66.7	12	16.7	83.3	32	65.6	34.4	66	30.5	69.5	8	12.5	87.5	0	0.0	0.0	29	10.3	89.7	1	0.0	100.0	25	4.0	96.0	26	23.1	76.9	8	0.0	100.0	52	1.9	98.1	15	0.0	100.0	0	0.0	0.0	403	25.1	74.9
南部住 宅地域	96	25.0	75.0	65	63.1	36.9	30	36.7	63.3	12	16.7	83.3	8	25.0	75.0	29	3.4	96.6	46	76.1	23.9	83	31.3	68.7	6	16.7	83.3	3	33.3	66.7	47	14.9	85.1	1	0.0	100.0	48	16.7	83.3	42	19.0	81.0	14	0.0	100.0	43	4.7	95.3	4	0.0	100.0	2	0.0	100.0	579	29.2	70.8
合計	414	23.9	76.1	290	54.1	45.9	143	33.6	66.4	105	28.6	71.4	39	12.8	87.2	173	5.8	94.2	197	78.2	21.8	363	26.2	73.8	42	7.1	92.9	17	5.9	94.1	331	6.0	94.0	11	0.0	100.0	151	10.6	89.4	190	15.8	84.2	80	0.0	100.0	406	3.0	97.0	55	0.0	100.0	16	12.5	87.5	3023	22.6	77.4

大阪市の民間生涯学習機関に関する研究

一分野の地域分布表 <表5>

	I		II		III		IV		V		VI		合 計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都市商業中心地域	584	42.9	173	41.1	240	72.5	9	81.8	192	45.6	326	68.4	1524	50.4
都市隣接混合地域	110	8.1	20	4.7	8	2.4	0	0.0	18	4.3	14	2.9	170	5.6
臨海工業地域	58	4.3	19	4.5	3	0.9	0	0.0	14	3.3	8	1.7	102	3.4
内陸混合地域	150	11.0	44	10.4	4	1.2	0	0.0	34	8.1	13	2.7	245	8.1
東北部住宅地域	173	12.7	74	17.5	29	8.8	1	9.1	59	14.0	67	14.0	403	13.3
南部住宅地域	286	21.0	92	21.8	47	14.2	1	9.1	104	24.7	49	10.3	579	19.2
合 計	1361	100.0	422	100.0	331	100.0	11	100.0	421	100.0	477	100.0	3023	100.0

一地域における分野分布表 <表6>

	I		II		III		IV		V		VI		合 計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都市商業中心地域	584	38.3	173	11.4	240	15.7	9	0.6	192	12.6	326	21.4	1524	100.0
都市隣接混合地域	110	64.7	20	11.8	8	4.7	0	0.0	18	10.6	14	8.2	170	100.0
臨海工業地域	58	57.0	19	18.6	3	2.9	0	0.0	14	13.7	8	7.8	102	100.0
内陸混合地域	150	61.2	44	18.0	4	1.6	0	0.0	34	13.9	13	5.3	245	100.0
東北部住宅地域	173	43.0	74	18.4	29	7.2	1	0.2	59	14.6	67	16.6	403	100.0
南部住宅地域	286	49.3	92	15.9	47	8.1	1	0.2	104	18.0	49	8.5	579	100.0
合 計	1361	45.0	422	14.0	331	10.9	11	0.4	421	13.9	477	15.8	3023	100.0

分野・地域にみる規模割合〈表7〉

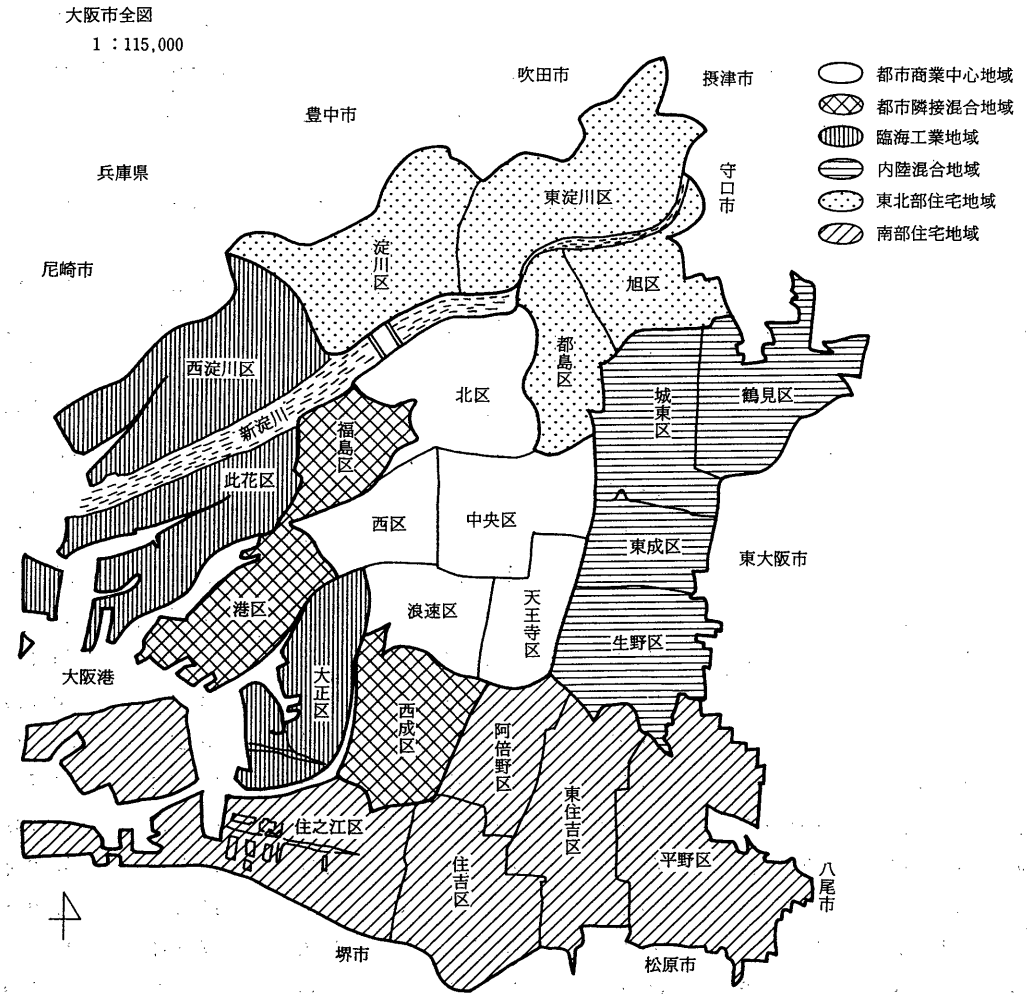
	I				II				III				IV				V				VI				合 計			
	自 宅		別 棟		自 宅		別 棟		自 宅		別 棟		自 宅		別 棟		自 宅		別 棟		自 宅		別 棟		自 宅		別 棟	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
都市商業中心地域	122	20.9	462	79.1	16	9.2	157	90.8	9	3.8	231	96.2	0	0.0	9	100.0	11	5.7	181	94.3	9	2.8	317	97.2	167	11.0	1357	89.0
都市隣接混合地域	63	57.3	47	42.7	9	45.0	11	55.0	0	0.0	8	100.0	0	0.0	0	0.0	5	27.8	13	72.2	0	0.0	14	100.0	77	45.3	93	54.7
臨海工業地域	29	50.0	29	50.0	7	36.8	12	63.2	0	0.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	2	14.3	12	85.7	2	25.0	6	75.0	40	39.2	62	60.8
内陸今後地域	104	69.3	46	30.7	18	40.9	26	59.1	1	25.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	5	14.7	29	85.3	0	0.0	13	100.0	128	52.2	117	47.8
東北部住宅地域	69	39.9	104	60.1	21	28.4	53	71.6	3	10.3	26	89.7	0	0.0	1	100.0	7	11.9	52	88.1	1	1.5	66	98.5	101	25.1	302	74.9
南部住宅地域	116	40.6	170	59.4	28	30.4	64	69.6	7	14.9	40	85.1	0	0.0	1	100.0	16	15.4	88	84.6	2	4.1	47	95.9	169	29.2	410	70.8
合 計	503	37.0	858	63.0	99	23.5	323	76.5	20	6.0	311	94.0	0	0.0	11	100.0	46	10.9	375	89.1	14	2.9	463	97.1	682	22.6	2341	77.4

大阪市の推計人口〈表8〉

区 名		人 口			面 積	人口密度 (1km <sup>2</sup> 当り)	〔参考〕 世 帯 数
		総 数	男	女			
総 数		2,633,578	1,297,976	1,235,802	213.11	12,358	1,018,110
北 区		89,075	42,598	46,477	10.05	8,863	36,953
都 島 区		95,230	47,260	47,970	5.86	16,251	37,270
攝 鳥 区		56,732	27,217	29,515	4.68	12,122	21,887
此 花 区		70,021	35,347	34,674	11.08	6,320	25,782
中 央 区		58,817	27,141	31,676	8.88	6,624	26,005
西 区		59,413	28,180	31,233	5.27	11,274	24,143
港 区		90,615	45,852	44,763	8.26	10,970	33,507
大 正 区		81,098	40,810	40,288	9.15	8,863	29,175
天 王 寺 区		65,825	26,064	29,761	4.68	11,928	22,041
浪 速 区		48,906	24,611	24,295	3.83	12,769	23,160
西 淀 川 区		94,666	47,750	46,916	13.12	7,215	34,238
淀 川 区		161,836	79,883	81,953	12.71	12,733	66,132
東 淀 川 区		177,483	89,203	88,280	13.15	13,497	70,744
東 成 区		82,203	39,297	42,906	4.51	18,227	30,144
生 野 区		158,480	75,929	82,551	8.24	19,233	54,758
旭 区		106,813	51,919	54,894	6.11	17,482	40,781
城 東 区		155,347	74,991	80,356	8.47	18,341	57,806
鶴 見 区		93,813	46,690	47,123	8.10	11,582	31,908
阿 倍 野 区		107,652	50,884	56,768	6.06	17,764	41,601
住 之 江 区		141,522	69,421	72,101	19.30	7,333	50,109
住 吉 区		160,607	77,630	83,077	9.16	17,534	64,941
東 住 吉 区		145,875	70,085	75,790	9.68	15,070	55,004
平 野 区		197,318	97,136	100,182	15.34	12,863	68,704
西 成 区		144,231	82,178	62,053	7.42	19,438	71,317

- 注 1. 本市人口の推計方法は、国勢調査人口に「住民基本台帳」、「外国人登録」を併用して毎月の増減人口を算出し、累計している。
2. 昭和60年10月以前は、国勢調査結果である。ただし、昭和20年11月は人口調査結果である。

大阪市計画局、『統計時報 1989年大阪市計画局 380』, 1989.



参考文献

- 大蔵省印刷局,『教育改革に関する答申（第一次～第四次）』,1988.  
国土庁大都市圏整備局編,『地域からみた生涯教育』,大蔵省印刷局,1989.  
松原治郎,『コミュニティの社会学』,東京大学出版会,1978.  
文部省,『生涯教育－中央教育審議会答申』,大蔵省印刷局,1981.  
文部省内社会教育行政研究会,『社会教育行政必携（昭和64年版）』,第一法規出版,1988.』  
Warren, L. Roland,『Studying your community』, New York : The Free Press, 1955.